



春は桜や菜の花…、ダンゴムシやミミズ…
夏は泥んこやシャボン玉、水遊び…、カブトムシやせみ…
その季節にしか出会えない自然や物に触れ
見たり、聞いたり、触ったりすることを楽しんでいます。



泡ふわふわ～

【色水遊び】

園庭に咲く草花を使って色水遊びをしました。すりこぎとすり鉢を使って草花をすりつぶしていくと紫や緑、黄色などの色が出てきました。年長児は、複数の草花を混ぜ色の変化を楽しんだり、目的の色に近づくよう試したりしていました。それを見た年少児も「作りたい！」とビニール袋に花と水を入れ、揉むと色が出てくることに気がつきました。「いいにおいがする」と匂いをかいだり「これはメロンジュース！」と見立てたりし、同じ遊びでも学年により楽しみ方や反応が異なり、子どもたちと一緒に色づくりを楽しめました。



こうやって潰すと色が出るよ

【虫探し】

ダンゴムシ探しを始めた年中児。シャベルと入れ物を持って「ここにいるだろう」と予測した場所を探しますがあまり見つかりません。そこで図鑑や絵本でダンゴムシはどんな所が好きなのかを調べてみました。『腐った落ち葉が好きでコンクリートを食べること、植木鉢の下や落ち葉の下にいる』ことが分かりました。「やっぱりここなんだ！」と自分たちの探していた場所がダンゴムシの好きな場所だと分かり大喜びの子どもたち。落ち葉や石を動かしながら探すとたくさんのダンゴムシを捕まえることが出来ました。

2歳児の子どもたちは、『ダンゴムシ体操』が大好き。ハイハイで歩いたりひっくり返って手足をバタバタさせたり、ダンゴムシになりきって体を動かしたりしました。

ダンゴムシ見つけた！



図鑑で調べてみたよ

【砂遊び・泥んこ遊び】

何でも手にとってみようとする0,1歳児の子どもたち。砂を握ってみるとザラザラとした感触に『にゅ』と表情が変わりました。そして上からさらさら～と落ちる砂を目で追ったり触ってみたり、砂の感触を楽しみました。

また、砂場で幼児さんが山や川・海を作りトンネルを置いたり手作りの船を浮かべたりもしました。

裸足になって手足を使って泥の感触の気持ちよさを味わっています。「こっちは冷たい！」と場所により温度や滑らかさが異なることにも気がつく子どもいて、それぞれお気に入りの場所を見つけ泥んこを楽しんでいます。



さらさら～

